

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課	20社会教育課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	16910	事務事業コード	2009
事務事業名	青少年育成活動事業				開始年度	平成16	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	地方青少年問題協議会法		例規等	佐渡市青少年問題協議会条例		
将来ビジョン	5. 佐渡活性化のための人材の育成・確保 (1)次世代を担う人材育成						H26:重点●政策○	ー
H27教育行政方針	【社会教育の推進】 2. 互いに助け合い活力にあふれる 地域の島						H27:重点●政策○	ー
H28教育行政方針	6. 家庭教育・地域教育充実のための取組の推進						H28:重点●政策○	ー
事業概要	次代を担う青少年が夢と希望を持って自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。 また、関係団体が情報共有ができる場を作るほか、社会教育団体の活動に対して支援を行う。							
対象	青少年							
意図 (対象をどのようにしたいか)	健全な育成を図る。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度 実績値	27年度(評価年度)		28年度 目標値	29年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
子ども会会員数		人	2534	3000	2557	2600	2600	2600
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事 業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	青少年問題協議会運営事業			49	0		63	予算	維持	
	指標	会議開催数	回	1	1	0	1	事業	維持	
2	青少年健全育成市民会議運営事業			104	84		152	予算	維持	
	指標	会議開催数	回	2	2	2	2	事業	維持	
3	青少年健全育成組織支援事業			1,610	1,702		1,704	予算	維持	
	指標	団体数	団体	13	13	13	13	事業	維持	
4	ボーイスカウト佐渡団支援事業			31	31		60	予算	維持	
	指標	団員数	人	20	20	10	7	事業	維持	
5	佐渡市子ども会連絡協議会運営事業			2,028	2,046		2,160	予算	維持	
	指標	会議開催数	回	3	3	3	3	事業	維持	
6	真野っ子体験セミナー			42	42		37	予算	維持	
	指標	参加者数	人	115	55	82	80	事業	維持	
7	その他			180	123		264	予算	維持	
	指標	-	-	-	-	-	-	事業	維持	

事業費の合計(千円)			4,044	4,028	4,440
財源内訳	国庫支出金		0	0	0
	県支出金		0	0	0
	地方債		0	0	0
	その他		0	0	0
	一般財源		4,044	4,028	4,440

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直すべき
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	青少年問題協議会運営事業	A	C	A	市内における青少年に関する事例報告や、各部署で取り組む新たな事例を紹介するなど、関係団体の代表に対する情報共有の場として開催する。
2	青少年健全育成市民会議運営事業	B	A	A	各協議会の情報共有の場となるよう、各地区の活動や情報の把握を行う。
3	青少年健全育成組織支援事業	B	B	A	各地区の連携を強化し、情報共有に努める必要がある。
4	ボーイスカウト佐渡団支援事業	B	C	C	組織弱体の傾向にある。
5	佐渡市子ども会連絡協議会運営事業	B	B	A	協議会との連携事業により、親子世代を対象とした事業を企画する。
6	真野っ子体験セミナー	B	B	A	家庭教育学級の取り組みとして、親子で一緒に調理できる機会を設けている。
7	その他				
Action		◆今後の事務事業の方向性◆			
評価(担当課長)		事業の方向性	拡充	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		青少年を取り巻く環境は、少子高齢化社会の中で、異なる年齢との交流の中や地域の中で遊ぶことが減少している昨今、子どもが地域の人や異年齢集団の中での活動を通して、人間形成をしていくことは重要なことであり、今後も積極的に事業を進めていきたい。 さらに、各種団体と連携し、青少年の健全育成を目的とした講座の充実や地域コミュニティの強化を図る。			